がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３５３号
令和６年５月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

末中最後の大運動会

末崎中学校（佐々木伸一校長、生徒71人）は、11日、春風薫る好天のもと大船渡中学校の統合前最後の大運動会を開催した。生徒会の本年度のスローガンは「彩」、これは、色々工夫して魅力ある企画をしてくれうことと、生徒一人ひいくとりも個性を出して羽ばたいてほしいという願いでもある。

開会式では紅組主将佐藤英悟君と白組主将村上大悟君が「今まで取り組んできたことがしっかり出せるよう精一杯頑張り、地域の人々に感謝と元気を届けられるよう笑顔で戦い抜くことを誓います」と選手宣誓した。

競技は、紅白に分かれて、各団長の指揮のもと声高らかな**エール交換**から始まった。続いて**女子徒競走**、**男子の徒競走**、皆、ゴールをめがけて全力で疾走した。**1年生の「ぼうでぼうルを運ぼうFINAL」**では、入学して一か月しか経っていないが、すっかり馴染み堂々と二人でボリルを運んでいた。紅白分かれての**綱引き**は、観衆から「ガンバレー」「それガンバレー」と大きな声援が飛ぶ。選手も必死に綱を引く。一進一退だ。見る側も思わず握る手に力が入った。

また、全校生徒による「**末中ソーラン**」は法被姿も凛々しく、一糸乱れぬ演舞で観衆を魅了した。**2年生の「キズナワトビ」**は3分間で何回飛ぶか。途切れることなく飛べば得点が高くなるので、縄を回す者と飛ぶ者の呼吸に注目が集まった。**3年生の「おこづかい」**はお題に沿って観客と楽しむゲーム。早く行ったがお題に合った人が見つからず、ゴールが遅くなるなど見るものをヤキモキさせる競技でもあり、皆一喜一憂していた。

運動会の最大の呼び物「**全校リレー**」。紅白に分かれ全校生徒がバトンをつなぎ全力で走る。はじめから抜きつ抜かれのシーソーゲームとなり、選手も一層力が入る。最後のゴールテープ切るのは紅白どちらかからぬ競り合いであった。

音楽に合わせてリズミカルに踊るだけでなく、体一杯使ってあらん限りの声を出して躍動した。この運動会にかける気持ちが伝わる素晴らしいで応援であった。

閉会式で校長先生は、皆さんは応援に、係り活動に、競技に一生懸命頑張った。鳴りやまない拍手はそれを物語っている。皆さんの姿はやるべきことをやった、悔いがないということ満足感と充実感に満ちているスローガンにもあるとおり、彩り豊かな感動の詰まった永遠に記憶に残る日本一の運動会になった。

ありがとう最後に校歌を斉唱し大運動会の一切を終了した。

生徒会長の村上奈央さんは「最後の運動会なので皆心を一つにして精一杯頑張ろうと思って取り組んだので、今はやりきれたという思いです」と達成感に満ちた表情で話してくれた。

獅子舞・権現様・虎舞等について

11　獅子舞・権現様の頭頂部の付属物について(2)

(1)　宝珠(ほうじゅ・ほうしゅ)

②　玉様

ア　所在　大船渡市盛町　五葉山神社の権現様
イ　所在　大船渡市盛町　天照御祖神社の権現様
ウ　所在　大船渡市盛町　吉野森神社の権現様
エ　所在　大船渡市盛町　早池峰神社の権現様

下に掲載しました写真は、2022 年(令和 4)4 月 17 日に盛町五年祭として天神山の天照御祖神社の社殿前に供えられた権現様の写真です。この年も感染症のコロナが猛威を振るっていたので、神輿渡御等の行列は取り止め、盛町全神社の権現様を一同に集めて神事を行った時の写真です。

写真には、五頭の内 4 頭の頭頂部に玉様の付属物があり、1 頭には金色の丸板様の付属物がついています。
私が調査した限りでは、この玉様の付属物も宝珠であると書いてあるものが多いです。

③　乳頭様

ア　所在　大船渡町　新山神社の権現様

新山神社の権現様は気仙地域の
権現様の元祖と言われています。
10 頭の権現様が確認されていますがその内の 1 頭が乳頭様です。

新山神社の権現様

2022 年 4 月 17 日盛町五年祭で天神山社殿前に鎮座した権現様

★平組はしご虎舞 27年ぶり出演

碁石海岸観光まつりは3、4日の2日間開催された。平組はしご虎舞は3日の最も観客が集まる正午に躍動感あふれる演舞を披露し万雷の拍手を浴びた。観光まつりに出演するのは、実に27年ぶりとのこと。

はじめに平組はしご虎舞代表金野一郎平地域公民館長より、およそ270年前から平地域に伝わる梯子虎舞の由来について説明がなされ、その後、演舞に入った。

演舞は、はじめは梯子に上らず舞台（通常は地面）で3頭が、笛や太鼓の囃子に合わせながら、虎が獲物を求めて首を左右に振りたてながら驀進する姿を表現した地舞（地踊りともいう）を披露。それから才舞子（サイプコ）に導かれ梯子を一段一段踊りながら上っていく。才舞子が梯子のてっぺんまで上り演舞する。

すると代わって虎舞がてっぺんに上がって演舞する。梯子から身をのりだし、幕をなびかせながらの演舞は虎の逞しさを表現しており、勇壮で舞の節々で大きな拍手が湧き起こった。才舞子は梯子の裏から下りてくる。途中、上半身を梯子の外に出しての演技をする。拍手喝采だ。やがて梯子に上っていた頭（虎舞）も舞台（地上）に下りて3頭で地舞する。一段と笛の音と太鼓の音量が上がり3頭激しく舞う。そしてすべての演舞が終了した。ひときわ高い「演舞に感嘆した拍手」が贈られた。

270年続く伝統芸能「平組はしご虎舞」のすばらしさを内外に知らしめた一日であった。